

3 県立長野図書館

(1) 図書館事業の概要

図書館が、多様な県民の学びを支える「地域の情報拠点」としての役割を果たすため、県立図書館を中心に様々な情報を生かした新しい図書館づくりを推進した。

ア 資料の充実（郷土資料・一般図書・児童図書等）

イ 新たな情報資源の導入（コーディングゲーム等）

ウ データベース等の情報提供の充実

エ 調査相談サービスの充実

(ア) レファレンス協同データベースへの事例登録・提供の促進

オ 図書館間貸出の促進

(ア) 市町村図書館等支援用資料の充実（郷土資料、専門資料等の充実）

(イ) 資料返却費用の支援

カ 公共図書館、学校図書館、図書館未設置町村の支援

(ア) 各館の状況に応じた運営支援の実施

(イ) 広域単位での研修の企画・実施、開催支援、講師派遣

(ウ) 地区ブロック会議への出席等による広域連携に向けた連絡調整及び支援

(エ) 図書館設置準備支援

(オ) 公式 Facebook ページ等を通じた情報発信の強化

キ 遠隔地サービスの充実

(ア) インターネット予約貸出の実施

(イ) 遠隔地返却窓口の設置

(ウ) 複写物郵送受取

ク 長野県図書館協会との連携活動の推進

(ア) 第 68 回長野県図書館大会（駒ヶ根市）

(イ) 公共図書館職員研修会の開催

ケ 関係機関との連携活動の促進

(ア) 信州大学附属図書館との連携

「信州 知の連携フォーラム第 3 回」の開催

(2) 職員組織 (人)

館長 1 総務課 3 企画協力課 5 資料情報課 11 嘱託 14

(3) 県立長野図書館協議会

委員の構成

職	氏名	所属・職名等
会長	森 いづみ	信州大学附属図書館 副館長
委員	大口 知子	ゆめサポママ@ながの 代表メンバー
	大林 晃美	NPO法人本途人舎 代表理事
	篠原 由美子	松本大学 非常勤講師 (前松本大学図書館長)
	辻井 まどか	茅野市図書館 館長
	西山 卓郎	株式会社バリューブックス 社員
	町田 典幸	長野市立篠ノ井東中学校 教諭
	棟田 聖子	松川村図書館 館長

(任期 平成31年1月1日から令和2年12月31日まで)

(4) 図書館資料 (平成31年3月31日現在)

ア 図書資料

(ア) 図書 総数 705,833 冊

(平成30年度受入数 9,914 冊 (うち購入6,844 冊、寄贈3,070 冊)
平成30年度除籍数 4,916 冊 (重複蔵書の整理によるもの)

(イ) 雑誌・新聞 雑誌 705 タイトル
新聞 98 タイトル

(ウ) 文書記録 268 点

(エ) マイクロフィルム 9,929 リール

イ 視聴覚資料

(ア) 16 ミリ映画フィルム 2,260 本

(イ) ビデオテープ 3,036 本

(ウ) DVD 179 本

ウ 商用データベース 14 件

(5) 館内利用状況

開館日数	213 日	【平日】 134 日	【土日祝】 79 日
利用人員	367,983 人	1 日平均	1,728 人
【内訳】 一般図書室	181,316 人	1 日平均	851 人
児童図書室	26,174 人	1 日平均	123 人
閲覧室	155,549 人	1 日平均	730 人
研修会・企画展等	4,944 人	1 日平均	23 人

(6) 調査相談

県民等から寄せられるさまざまな調査・相談に対して図書館の資料に基づいて回答するレファレンスサービスを実施した。

調査相談件数 (分類別)

(単位：件)

分類	口頭	電話	文書、FAX、 メール	計
郷土	296	171	242	709
総記	35	7	6	48
哲学	57	10	5	72
歴史	206	41	6	253
社会科学	165	42	10	217
自然科学	147	15	4	166
技術	93	16	1	110
産業	54	7	2	63
芸術	124	23	4	151
言語	33	8	0	41
文学	167	31	11	209
利用案内等	379	1,671	3	2,053
計	1,756	2,042	294	4,092
比率 (%)	42.9%	49.9	7.2	100 %

(7) 図書館間貸出

県民等が必要とする図書館資料を最寄りの公共図書館等を通じて提供する図書館相互の貸借を行った。

図書館相互の貸借冊数

(単位：冊)

図書館等		区 分	貸 出	借 受
		県 内	公共図書館	1,418
公民館図書室	367		0	
学校図書館	1,791		0	
その他機関	27			
県 外		163	121	
合 計		3,766	251	

(8) 行政機関等への支援状況

区 分	平成 30 年度	
	件数	貸出冊数
行政機関等への特別貸出	9	10
区 分	件数	
図書館・行政機関等へのレファレンス	81	

(9) 団体貸出

ア 公民館文庫

図書館未設置町村の図書館建設や読書活動支援のため、公民館図書室に対して1館2,000冊・5年間を限度に図書の貸出を行ってきたが、平成30年9月末で貸出を終了した。

イ 視聴覚資料

学校教育、社会教育上価値が高く、広く利用されることが適当と認められる視聴覚資料（ビデオテープ、16ミリ映画フィルム、DVD）の貸出を行った。

延べ利用件数

項 目		視聴覚資料（本）
総 数		46
内 訳	公 民 館	16
	民 間 団 体	3
	県 内 図 書 館・官 庁	5
	大 学	0
	高 等 学 校	21
	中 学 校	0
	小 学 校	1
	幼 稚 園	0
	県 関 係	0

(10) 図書館改革への取り組み（再掲含む）

ア 信州発「これからの図書館フォーラム」の開催

新たな時代にふさわしい図書館のあり方について提案、議論する場を展開

- ・「わたしたちの図書館、をめざして」（H30.6-10 全3回）
 - ・「県立図書館『信州・学び創造ラボ』空間デザインコンセプト検討ワークショップ」等（H30.5-H31.3 全8回）
 - ・「信州酒ペディア in 上諏訪」（H30.10.27）
 - ・「長野県図書館大会公共図書館部会分科会『地域の情報資産を創る』」（H30.11.10）
- など

イ 市町村図書館・学校図書館への支援

- ・「木曾郡内学校図書館司書研修会：図書館実験室りぶらぼ！」（主催：木曾郡司書部会）（H30.8.3）
- ・「北信公共図書館連絡協議会職員研修：「知る」ことを応援する立場として（主催：北信公共図書館連絡協議会）（H30.11.15）
- ・「上小・東御図書館協会研修会：気づきと出会いを引き出す蔵書構築」（主催：上小・東御図書館協会）（H31.2.21）
- ・「第42回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会研修会：「情報」と「ひと」をつなぐ場としての公共図書館とは」（主催：中信地区公共図書館職員、公民館図書室職員連絡会）（H31.2.25） ほか

ウ 先進的モデル空間の創出

- 1階の児童図書室を「本」を中心とした場所から、様々な形で情報に触れることができる場所にリニューアルし、子供たちが、『知ること』の喜びを体験できる場所として4月にオープン。
- 2階の一般図書室を、日本十進分類法の配架から「自然とからだ」「はたらく・まなぶ」というように、実際の生活や学びに結びついた配架にリニューアルし、利用者が『世界』を再発見できる場所として3月にオープン。
- 「共知・共創（共に知り共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場所として「信州・学び創造ラボ」を3階に整備。